

江 工 会 会 報

発行所
江 工 会

島根県江津市江津町1477
島根県立江津工業高校内
電話 (代) 0855-52-2120
郵便番号 〒 695-0011

「母校存続と地方創生」

会 長 土 井 正 人

(工業化学科 昭和三十九年卒業)



皆様あけましておめでと
うございます。
平成二十七

年、新しい年に向かつての抱負は何でしょうか？希望にあふれ、夢多きものでありますように願っています。

さて、昨年は母校開校八十年として盛会に祝うことができ、多くの卒業生の皆様にお越しをいただき、励ましていただきました。ここに改めて厚くお礼申し上げます。

江津工業高校の前身は、明治三十五年養蚕の講習所として開設され、大正十年には、女子農学校となり、昭和四年には、島根県立江津高等実業女子学校と改称された後、昭和九年に島根県立江津工業学校として開校、木工建築科が設置され、これをもつ

て江津工業高校の始めとしてありますが、元を正せば明治三十五年ですから、すでに百十五年位の歴史があることになりました。

昭和四十年位には、全校生徒九百名以上が学んでおりましたが、現在に至っては、少子化により三科で全校生徒二百五十名程の小規模校となっており、市内県立高校の今後の在り方についてを考える検討委員会が市内有識者、関係者でもって設置されました。

江津市内には、私立の石見智翠館高校（前江の川高校）があり、多くの市内生徒が入学し、その影響もかなりあると思われませんが、入学者の増加がなかなか望めない状況にあります。

県教育委員会の定める統廃

合基準は専門高校については一学年二学級になることが見込まれれば、統合を検討するとなっております。

毎年入学者が八十名前後で三学級の維持が微妙な状況が現在続いており、県からの指示を待つのではなく、市内関係者でもって高校の在り方について議論をし、本年度中に要請することになってい

ます。私達も母校の存続に向け、今何をすべきか真剣に議論すべきところに来ています。

石見地区における唯一の工業高校として情報の発信をしていかなければなりません。

卒業生の皆様の力が必要です。時にふれ母校に情報提供をお願いいたします。

さて、政府は今になって地方創生、地方創生と叫んでいます。江津市は人口二万五千人を割る状況の中、高齢化率は三十四％と三人に一人は六十五才以上の年金生活者ばかりとなっております。

しかしこの高齢者が意外と元気、元気なのです。そこで、今の現状をどう打破するのか、最大の課題です。

今、江津の工業団地に新しい企業が続々と来ております。この三年間で、百五十名

の雇用が生まれる状況です。人材の確保が出来るのか心配もありますが、これらによる若者の定住が進めば江津市も少しは元気が出るのではと期待しているところです。卒業生の皆様もどうか江津に帰って来て江津を元気づけて下さい。江津市は皆様を待っています。

ある新聞の記事に「経済も文化も東京一極集中の日本で地方文化とは、東京の文化を無批判的に受け入れ、有名人

を招いて話を聞くだけになっていないか、東京の人とカネに頼るのではなく、地域に暮らす人々による新しい価値の創造が求められている。いつの時代も未来を切り開く開拓者は、従来になり発想で動く「バカ者」だ」とありました。若者とバカ者が一人でも多く出ることを期待しています。

皆様にとりまして、今年もより良い年になりますと共に母校の存続、発展を願って挨拶とさせていただきます。



外壁リフレッシュ工事完了後の本館

ご挨拶

校長 大賀美周作



江工会員の皆様には、新春をお元気で迎えること

とお慶び申し上げます。平素より、本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度は、開校八十周年の記念すべき年であり、開校八十周年として校内レガッタ

大会、江工祭（文化祭・体育祭）、演劇鑑賞そして記念式典と多岐に亘り卒業生会の皆様からご支援を頂きましたことに感謝いたしております。

ありがとうございました。今年の体育祭では、数十年ぶりに江工応援歌（建築科「江の川流れて三千年」機械科「潮しよう細き」総合電気科「百花よそおい」）を歌い、各科の応援合戦が始まりました。

文化祭の開会もミルキウエイイホールで始まり、JRC部の五左衛門松（正門前の松並木）についての研究発表後に、昨年大活躍をされた歌手の山崎ていじ（昭和五十一年A科卒）氏のトーク&ライブショーを観覧しました。

また、十月十日に行いました開校記念式典には各支部から支部長様を始め、多数のご出席を賜り、感謝いたしております。八十周年記念行事として江工会を中心にPTAからも支援を頂き、マイクロバスを寄贈して頂きました。現在、学校行事や部活動に有意義に活用させて頂いております。

本校は、江津・浜田地域を中心とし工業人材育成の拠点として八十年間その任を背負って来ました。昨年度より就職を希望する生徒の半分以上が地元に残ってくれています。少子高齢化が進む本地域において、本校が担うものは大変大きいものがあり、地域の発展に今後も寄与できる学校であると確信しております。

しかし、この地域の少子化の流れは大きく、二十七年度入学定員は本校が百二十名、江津高校が八十名、智翠館高校が県内枠八十名であり、ここ数年後の江津市の高校入学予定者の数も二百名から減り続け、百八十名程度まで減り見込みであり、江津市、浜田市それぞれに市内の県立高等

学校の在り方が検討されております。

現在の本館校舎は、昭和三十七年から四十二年にかけて建築された物で、老朽化も進んでいました。昨年から本年にかけて、本館のペランダ手すり及び外壁・中校舎の外壁のリニューアルが済み、きれいになりました。現在、体育館の外壁のリニューアル中で

江工会 支部 だより

関東支部

ふるさとの活性化

坂 一 治



（建築科 昭和五十九年卒業） 新年あけましておめでとうございます。 昨年は、開校八十周年おめでとうございました。本年も、より一層の歴史を刻むべく皆様のご繁栄を祈念申し上げます。

私は、昨年の十一月になんと十年振りにふるさとに帰りました。忙しさを理由に益暮

あり、二月からは、機械科実習棟の外壁工事も始まりま

す。来年度以降に他の実習棟外壁や本館・体育館の内装工事も始まりま

す。本校も八十一年目に向けて、きれいな校舎になり、新たな一歩を踏みだそうとしています。

江工会の皆様のご支援を今後もよろしくお願いいたします。

れ正月を東京で過ごす日々でした。私のふるさは、江津市の川平町という町です。久しぶりに帰って驚いたのは、まず江津駅前

の寂しさです。おそらく十年前に帰った時も寂しかったのですが、改めて寂しく、静かだと感じました。昔にぎやかだったトワデパートや高校時代ちよつと背伸びして入った喫茶店は跡形もありませんでした。

また、川平町はさらに寂しく、子供や若い人を見かけませんでした。そして昔四〇五件あった商店もすべてなくなり、缶ジュースの自動販売機が数台あるだけでした。さらに二年前の水害により橋が落ち、いまだ復旧していない状況でした。

江工会関東支部総会にて、来賓として来てくださった土

井会長、大賀美校長から江津駅前の状況や水害の状況は聞いていましたが、実際にこの目でみると東京での生活が慣れてしまった私にとって久しぶりに帰ったふるさは、とても寂しく映りました。

そのようななかで、私の中学の同級生が唯一一人川平町で働き生活しています。久しぶりに帰った私は、同級生と酒を飲みながら川平や江津の状況を聞き、特に川平町は過疎化が進み、なかなか厳しい状況だと感じました。また、その同級生は地元で石見神楽をやっていることも聞きました。そして今、石見神楽は人気があり注目されていることも聞きました。その話を聞き、なんだかかほつとして嬉しくなりました。

実は、私の父は健在で川平町で『八名窯炭焼工房川平』を数年前に立上げ、地域の活性化の為に取組んでいます。そして父は江津工業高校の二十四年先輩でもあります。先輩である父や同級生が生活し、私のふるさとでもある江津市・川平の活性化のため、また母校である江津工業高校の発展のため、遠く離れた東京でもふるさと納税や地元

の活動、そして江工会の活動

の活動、そして江工会の活動

の活動、そして江工会の活動

の活動、そして江工会の活動

の活動、そして江工会の活動

関西支部

など小さなことではありませんが実践していきたいと思えます。そして本当に心から活気あるふるさととなり母校の益々の発展を願っております。

「新たな志を持って」

副支部長 堀 越 保 幸
(建築科 昭和五十一年卒業)



江工会の皆様
新年明けましておめでと
うございます。

昨年、支部総会においてご承認頂き、副支部長の大役を仰せつかりました堀越でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

私は江工会へ参加を始めて、まだ十年に満たないものですが、五十代でも若手の状況の中で同世代や若い方たちと共に江工会を盛り上げて行きたいと考えます。

関西支部では、昨年、六月七日の支部総会、ゴルフコンペ三回、定期役員会など定常通り進めてきました。それら種々の催しの中で、話題として盛り上がったのは何と言っても支部会員で建築科同期の

歌手 山崎ていじさんの活躍です。山崎さんには十数年前から支部総会に参加頂き、ステージを盛り上げて頂いています。

昨年は二月発売の新曲で四月に憧れのNHKホールでの「歌謡ステージ」に出演され、六月の支部総会ではその報告と新曲を披露されました。

その後も益々勢いを増されてテレビ各局に出演、年末の日本有線大賞新人賞を初めとした数々の賞を受賞され、役員や会員間でも「〇月〇日□局出演予定!」、「〇日のテレビ見たか?」などその話題で持ち切りでした。

苦節十八年にして一躍脚光を浴びられたことはご本人の大変なご苦労やご努力の賜物と敬服すると共に、毎年の支部総会参加の方々からの「ていじ、頑張れ!」の応援光景が過ぎり、現役を退かれた先輩方や同世代の現役の方、今まさに目標に向かって頑張っている若手の会員に新鮮な刺激を頂いたものです。

その山崎さんの活躍を目の当たりにし、今後一層の支部活動の活性化やより多くの会員方への総会出席勧誘などで関西支部の発展に努めて行きたいと意を新たにいた

しました。今後共ご指導のほど宜しくお願いいたします共に、江工会会員の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。



関西支部総会

山口県支部

偉大な「故」吉崎錦明先輩の偉業をしのんで

支部長 大屋節雄 (岩国)
(工業化学科 昭和三十八年卒業)



皆様、あけましておめでとうございます。このおめでたい時期に訃報のお話し

申し訳ありませんが、昨年五月二十一日に江工会山口県支部長を平成二十四年度まででいられた吉崎錦明先輩(昭和三十一年建築卒)が他界されました。支部長を長年にわたり務めており、毎年の総会では、得意のカラオケ、ハーモニカ、詩吟等で場を盛り上げていただき、山口県支部としては掛け替えのない人物だったのですが、真に残念の極みです。

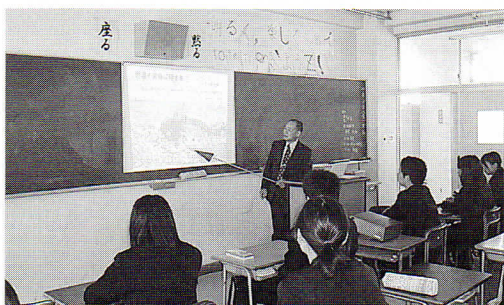
前江工会会長の【故】室安さんと吉崎さんは同級生で二人が山口県支部総会で楽しく語りあっていた昔を思い出すと目頭が熱くなります。

現在の山口県支部では、毎年開く総会の参加者は高齢化と共に年々参加者が少なくなっています。反面参加する者はお互い気心した仲で、大いに盛り上がります。

昨年度は山口市湯田温泉のホテル翠山荘で第五十三回目の総会を開催しました。本部より倉本先生をお迎えし、また九州支部とは毎年交流しており、今回も大草会長以下四名をお迎えし二十七名の参加者で盛大な総会となりました。平成二十七年は岩国の吉田新館で二月二十二日に総会を開催すべく準備を進めている

ところで。

江津工業高校も開校八十周年記念式典を十月十日に無事挙行されまして、誠にありがとうございます。私も山口県支部を代表しまして、午前中十一時からの建築一年生の授業を受け持たせていただきましたが、式典の一翼をになう事ができ、喜んでおります。最後に江工会本部の益々の発展と皆様方のご多幸をお祈りしています。



経験談講話



九州支部

開校八十周年記念式典に

出席して

支部長 大 草 正

(建築科 昭和三十一年卒業)



江工会員の皆様あけましておめでとうございます。

良い年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

昨年は、NHK大河ドラマ軍師官兵衛(我が福岡、北九州ゆかりの地)に始まり、集団的自衛権の閣議決定、消費税の八%導入など、又八月には、広島県安佐北区地域の土石流による大きな被害となり被災されました方の御冥福をお祈り致すと共に御見舞を申し上げます。

十月十日、母校の開校八十周年記念式典に出席する為、久しぶりに学校へ行き倉本先生の案内で周辺を見て廻りました。卒業当時とは大きく変わり、砂浜や松林も無くなり淋しい景色に驚きました。

記念式典では、学校長の式辞につづき、教育委員会、江工学会長の挨拶、各方面からの祝詞、生徒会長の謝辞、校歌斉唱で終了。記念講演では、

西村和也氏の「我が挑戦への歩み」と題してお話があり、続く石見神楽の上演見事でした。盛大に式典が終了し、出席できた事心より感謝申し上げます。実行委員の皆様方がありがとうございます。

我が九州支部も、平成二十六年三月九日(日)北九州市のクラウンパレス小倉にて、土井会長、高月先生、山口支部より出席していただき、総会を無事終える事が出来ました。

今年も支部活性化の為、全力で努力していく所存です。最後になりましたが、会員の皆様方の御健勝と母校の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

益田支部

江工会初参加

田 原 央

(機械科 昭和六十三年卒業)



新年明けましておめでとうございます。江工会の皆様には、ますますの御健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年十一月二十八日益田支部総会が「三好家」に於いて二十名の出席で開催されました。

高校を卒業して二十七年間、地元柿木村(吉賀町)において毎年案内は頂いていたものなかなか一人では出席する勇気がなく欠席していました。こんな私ですが、平成二十三年二月父の事業を引継ぎ色々な会合に出席するようになりました。そして益田市部の素晴らしい方々とのご縁で今回初めて参加させて頂きました。初めての参加ということもあり、やや緊張気味でしたがが始まってしまえば時間の経つのも忘れ楽しい時間でした。

また、大先輩方の江工会への思い、経営、地域への考え

方などといったお話ができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

これからは、先輩方を見習い益田支部を盛り上げていきたいよう頑張っていきたいと思っておりますのでご指導よろしくお願ひします。

最後に、江工会皆様のご健康とますますのご活躍をお祈り申し上げます。



益田支部総会

で新年を迎えられたことと思えます。

昨年は、全国各地域で「数年に一度、数十年に一度」の大雨が降り、特に広島県では多くの死者が出るなど大変な災害が発生しました。また、御嶽山の噴火は戦後最大の火山災害、長野県では地震による災害の発生など自然の力を痛感させられた年ではなかったでしょうか。それぞれ被害を受けられた方々にはお見舞いを申しあげるとともに一刻も早い復興・復旧願うものです。今年度はこうした災害が起こらないことを祈っています。

昨年も弥栄支部では二月十六日に「ふるさと体験村」に於いて第二十八回の定期総会を開催しました。当日は大賀美学校長、楫野先生(事務局)を始め、江工会浜田支部長の松浦様にお出掛け頂きました。支部会員二十一数名の内七名の参加で出席率は低調でしたが、地酒を酌み交わしながら歓談し、総会の最後には恒例の応援歌・校歌の合唱で締めくくりました。年々出席率が低くなるのが心配ですが、本年度も計画してみたいと考えています。

最後にりましたが、昨年江津工業高等学校は開校八十

弥栄支部

新年を迎えて

支部長 大 谷 十三一

(工業化学科 昭和四十五年卒業)



新年明けましておめでとうございます。江工会の会員

の皆様にはご家族共々ご健康

周年記念となる節目の年でしたが、今後益々の繁栄と、江工会員皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。



弥栄支部総会

浜田支部

開校八十周年記念事業

に参加して

副支部長 飛野弘二

(電気科 昭和三十九年卒業)



新年あけましておめでとうございます。私儀、昨年

六月の浜田支部総会の役員改選により副支部長に選出されました。今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

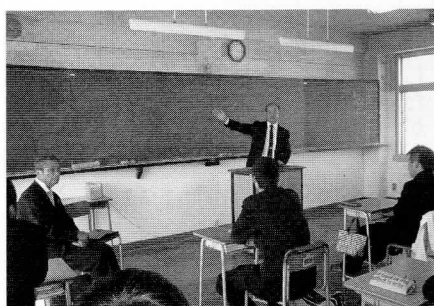
卒業以来四十年間、関西で電気業界に勤務し、平成十五

年、故郷へUターン、農業を継ぎながら高齢化著しい地域に於いて少しでも元気が出ればと微力ながら活動をしつつ現在に至っています。

古希を迎え今自分の人生を冷静に振り返った時、やはり母校と恩師の存在は根源であり感謝の気持ちが増すばかりです。そういう中、開校八十年という大きな節目にふさわしい記念事業を企画立案された関係各位に一卒業生としても深く感謝と誇りを持つものです。盛会に挙行された記念式典。校長先生の力強い前向きな式辞は、きつと一万三千人を超える卒業生をはじめ関係者に希望を与えられた事と思えます。

この事業の一環で「先輩による経験談講話」の講師に指名されました。総合電気科二年生のクラスを担当させて頂きました。電気に係り四十二年一筋、私の人生を振り返る素晴らしい体験となり、心を洗われる気持ちでした。詰襟の生徒さんと過ごしたひとときは、丁度東京オリンピック開会式の日で半世紀の再現でありました。そんな中、校門付近にある立て看板に「チャレンジしよう!ものづくりの道、就職率100%」とあった。

優秀な人材を送り出す母校に改めてエールを送ります。百周年に向い益々のご発展ご祈念致します。



経験談講話

江津支部

ふるさとを支える

人材の育成に尽力を!!

事務局長 横田学

(工業化学科 昭和四十三年卒業)



島根県の中でも著しく人口減が激しい江津市、特に

少子化と若者の流出が大きな要因になっている。従って、母校江津工業生の地元産業を支える力は極めて重要であり、生徒の地元化率を高め、今こそ地元産業を支える江津工業高校であれ!

昨年度の取組みについて
① 関東支部年次総会出席
二月二十三日(日)
於…西五反田ゆうぼうと
土井会長、大賀美校長
等出席

② 関西支部年次総会出席
六月七日(土)
於…大阪弥生会館
土井会長、大賀美校長
高月先生等出席

③ 八十周年記念行事
先輩と語る!

十月十日(金)

江津地区、浜田地区で
五名の先輩へ依頼する。
江津地区・
岩本氏、田中氏
奥迫氏、山崎氏
浜田地区・岡本氏

④ ふるさとでの働きを考える!
十月三十一日(金)

(1) 地元企業とのトークセッション



(2) ワールドカフェ(企業ブースを尋ね、より理解を深める)
(TOP金属・双葉工業・今井産業・しまね森林発
電・江津市役所)



八十周年を基に地域から愛され信頼されて成長し続ける江津工業高校として有り続けるために、全国のOB会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。



江津市役所支部

支部の報告

支部長 藤田 佳久
(建築科 昭和四十九年卒業)



会員の皆様
におかれましては、お健やかに新年をお

迎えることとお慶び申し上げます。

さて、昨年江津市では市制六十周年並びに桜江町との合併十周年を迎え、また母校江津工業高校は開校八十周年を迎えた節目の年となりました。

全国的には大型台風の上陸が相次ぎ、広島県ではゲリラ豪雨による土石流被害が起こり、御嶽山の噴火等々多くの尊い命が失われた自然災害が多発した年でもありました。

江津市でも、一昨年八月の三時間に二百一ミリ、日雨量四百六十八ミリを記録した豪雨災害は、昭和五十八年災害に匹敵する大規模な災害で、まだまだ復旧の途上にあります。

現在江津市では、その災害の復旧・復興を最優先の懸案事項として取り組んでいるところと通学で通った道でもありません。江津駅前では、「江津駅

前地区再生整備事業」が本格的に動き出しています。駅前のモア周辺のほとんどの建物が解体され、その跡地に公共複合施設の建設、あけぼの通り等の周辺道路整備や山陰合同銀行の建て替え、ビジネスホテルの建設等が始まりました。二年後には江津駅前が新たな姿を見せていることと楽しみです。

私たち江津市役所支部の会員は、ピーク時の七十数名より年々減少し現在は二十名となっていますが、本市のキャッチフレーズでもある「小さくてもキラリと光るごうつ」を念頭に、先の災害

復旧や駅前地区再生整備事業に中心的な役割を担っています。また母校の校訓であります「質実剛健・不撓不屈」の精神を胸に、江津市の発展のため頑張っているところです。最後となりましたが、江津会員の皆様のさらなるご活躍とご健勝を祈念いたしますとともに、江津市役所支部へのご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

同窓会

五月二十七日

機械科二十九年卒
(五期・福美会)

玉造温泉 玉造グラウンド
ホテル長生閣にて開催しました。

卒業後、六十周年目の同窓会、本当に早いものです。体調のすぐれない方、都合が悪く参加出来ない方からは、近況を知らせて頂き参加者は八名でしたが、学生時代の思い出話や恩師 松井邦友先生のご健在振りを写真やお便りすることが出来て楽しく開催することができました。

幹事 稲垣・島田・寺本

六月二十五日

工業化学科三十八年卒

古希同窓会を終えて

(幹事・河野敬次、岡本行男)

昭和三十八年三月卒業の工業化学科同窓会を平成二十六年六月二十五日大阪の「がんこ」で関西在住者を中心に全国各地から十五名が集まり盛大に行いました。

当日は、午後大阪新阪急ホテルに集合し美味しいビールを飲みながら全員が近況や江津工業時代のエピソードなどを話し二次会、三次会とはしごし昔を懐古しました。同窓会は不思議なもので直ぐに五十一年前の時に帰り、次回の幹事を決めて元気に再開することを約束して解散しました。

昭和三十八年といえれば日本



工業化学科三十八年卒

は高度経済成長の走り、とに角「がむしゃら」に経済活動を廻す歯車の一つとして一心不乱に働いてきたように思います。それから約半世紀を振り返ってみますと功罪両方が有ったように思います。驚異的な経済発展を遂げましたが、家族や地域の横の繋がりが、日本の良い伝統を失い少子高齢社会に有って、お互いを理解し助け合うというコミュニケーション精神が希薄になりこれからどうなるのだろうか。と将来への心配もありません。しかし心配ばかりしていても何の解決にもなりません。

今、我々に与えられた環境で出来る事を精一杯行い次の世代に健全な状態でバトンタッチしたいと考える現在です。

河上勝利



江津市役所支部送別会

江津市役所支部送別会
今田三孝さん・金子正一さん

開校八十周年記念事業

平成二十六年は開校八十周年記念の年ということで、学校として色々な記念行事を計画して実行してきました。江工会員の皆様方にも多くの助言やご協力をいただき、盛大に記念行事を行いましたこと、ここに感謝申し上げます。

まず六月には「開校八十周年記念校内レガッタ大会」を開催しました。梅雨時の開催でもあり雨や風で流れることの多い大会ですが、今年は好天に恵まれベストコンディションでの大会となりました。OBを中心とした保護者チームや教員チームも参加し楽しい大会を行うことができました。

十月二日には、「開校八十周年記念江工祭（文化祭）」として本校OBの演歌歌手「山崎ていじ」さんをお招きし、ミニコンサートを行って江工祭のオープニングイベントとしました。その後、生徒たちの催し物（屋台等）にも顔を出された山崎ていじさんに生徒たちも大興奮でした。十月四日には「開校八十周年記念江工祭（体育祭）」が行われました。今年は八十周年

記念なので各チームの応援歌に江工の応援歌が盛り込まれていました。見学に来られた江工会員の皆様は懐かしかったのではないのでしょうか。

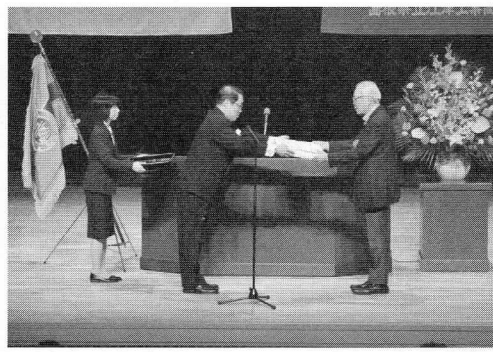
十月十日には、「開校八十周年記念式典・祝賀会」が行われました。

午前中は、関東支部からのご提案により「OBによる経験談の発表」が行われ、関東支部、関西支部、山口県支部、江津支部、浜田支部より十名の講師が各クラスに入り、発表されました。

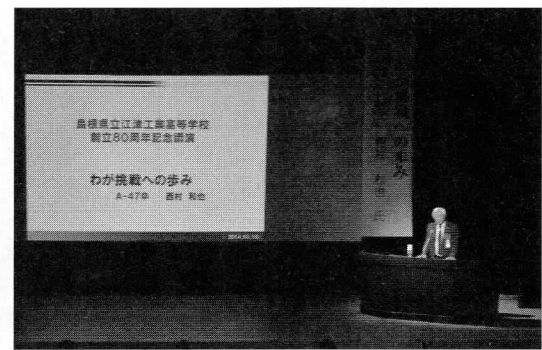
午後より「開校八十周年記念式典」が行われました。



来賓として島根県教育委員会、江津市、江津市議会、商工会議所、元校長、江工会各支部長・会員の皆様など多くの方が出席されました。最後に古くなった体育祭の優勝旗の新調や部活動用のバス購入資金の一部として多額の寄付を頂いた関東支部の大木一夫様に感謝状が贈呈されました。



続いて記念講演として「わが挑戦への歩み」と題して、関東支部支部長の西村和也様に講演を頂きました。途中、火災報知機の誤作動が発生するなどハプニングもありましたが、時間一杯の充実したお話を聞くことができました。

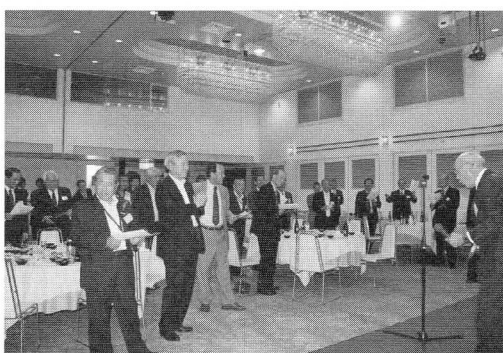


最後にアトラクションとして、有福温泉神楽団による「大蛇」の舞が舞われました。終わりの時間が限られており、忙しくて慌ただしい感じでしたが、八頭の大蛇の勇壮な舞を観ることができました。有福温泉神楽団には多くの江津



工業卒業生が在籍しており、今回も多くのOBの方に舞っていたことができました。夜は約六十名の方に出席していただき祝賀会を開催いたしました。

江津市長、江津市議会議員、商工会議所、江工会各支部代表、江工会員、本校教職員などたくさんの方々とお懇親できた楽しい会となりました。江工会江津支部の西谷茂様の音頭による江津工業高校応援歌や校歌の斉唱では、老若の分け隔てなく盛り上がった歌声が響きました。あつという間の二時間でした。「次は九十周年に向けて、頑張ろう！」と誓い合って散会となりました。



事務局だより

平成二十六年二月〜十二月

二〇一四 (平成二十六年)

二月十四日

会報四十八号発行

県内外各支部、卒業生在籍地元企業、現旧教職員、在校生、同窓会等に配布。

二月十六日

弥栄支部総会

ふるさと体験村に於いて大谷 十三一 支部長(工化科四十五年卒) はじめ七名の会員の出席。
前年度の活動(事業)や決算の報告、本年度の活動(事業)計画や予算についての審議がありました。事務局状況報告では、役員改選、

二月二十三日

関東支部総会

五反田・ゆうぼうとにて開催。西村 和也 支部長(建築科四十七年卒) はじめ六十二名の会員の出席。
来賓として、関西支部より橋本 克己氏(建築科四十二年卒) 江津支部より事務局長の横田 学氏(工化科四十三年卒) 島根県東京事務所より一名、山陰中央新報社より一名、アクティブデイズ 世古口 緑氏が出席。

八十周年事業についての説明をおこなった。
懇親会では、総勢十名(本部三人含)の出席。会場は離れの古民家であり、高時代時代の思い出話、最後は校歌、応援歌を全員で歌い大変盛りまりました。

二月二十八日

新卒者入会式

江工会入会式(平成二十四年度卒業生五十一名)

電気科五十一年卒業の田中裕之氏より「ものづくりの進化について」と題して卒業を控えた生徒達へものづ

築科五十一年卒)による熱演が演じられました。



くりについて貴重な講話をいただいた。

三月二日

山口県支部総会

三浦 幸一 副支部長(建築科四十年卒) はじめ二十八名の会員の出席。(担当 山口地区)

三月九日

九州支部総会

前支部長の吉崎 錦明氏(建築科三十一年卒)へ本部より感謝状の贈呈がありました。
懇親会では、カラオケ大会等で大変盛り上がりとなりました。

ホテルクラウンパレス小倉で開催。

大草 正 支部長(建築科三十一年卒) 十三名の会員の出席。また山口県支部より五名が出席された。

懇親会では、山口県支部、九州支部の皆様のすばらし



い歌声、そして昔懐かしい
高校時代の思い出話でおお
いに盛りまりました。

五月十六日

江工会理事会・総会

理事会では、土井正人会
長（工化科三十九年卒）の
挨拶から始まり、二十五
年度事業・決算報告、二十
六年度事業・予算審議。名簿
発刊について、江工会奨学
金制度、八十周年記念式典
についてなど、すべての議
案が承認されました。

懇親会では、各支部からの
出席もあり親交を深めるこ
とができました。

六月七日

関西支部総会

風早 昭 支部長（建築科
四十一年卒）はじめ六一
名の会員の出席。

来賓として、関東支部より
西村 和也 支部長（建築
科四十七年卒）、坂 一治
氏（建築科五十九年卒）の
二名の出席。また、江津支
部より横田 学 事務局長
（工化科四十三年卒）が出
席。

懇親会では、アトラクショ
ンとして下坂（龍志さん、
高橋 静女さんによる「民



謡と津軽三味線」続いて演
歌歌手 山崎 ていじオン
ステージが演じられ大変盛
上りました。

六月十四日

浜田支部総会

第五回総会をジョイプラザ
にて開催。

松浦三男 支部長（電気科
四十年卒）はじめ二十七名
の会員の出席。

総会では、前年度の活動（事
業）や決算の報告、本年度



の活動（事業）計画や予算、
新役員についての審議があ
りました。
懇親会には、今年度より参
加されている会員の方も多
くおられ最後には、佐々
木敏博 事務局長（機械科
四十二年卒）によるトラン
ペット演奏にて、応援歌、
校歌を歌い、大変盛りま
した。

十一月二十八日

益田支部総会

三好家にて開催。
佐々木忠之 支部長（電気
科三十九年卒）はじめ十八
名の会員の出席。
総会では、事業報告、監
査報告が実施された。総
会に続いて、懇親会が実
施されハーモニカ演奏に
よる校歌斉唱やカラオケ
が行われ、おおいに盛上つ
た会となった。



計 報

謹んでお悔やみ申し上げます

旧職員

- 古藤 政人（前校長）
- 山藤 朝之（元教頭）

会 員

- 小林 悟（機械S29年卒）
- 吉崎 錦明（建築S31年卒）
- 灘 勝春（工科S35年卒）
- 北田 稔（機械S51年卒）

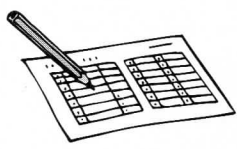
編 集 後 記

多忙な折り、快くご寄稿い
ただきましたこと、厚くお礼
申し上げます。おかげさまで
第四十九号を発行することが
できました。

一面の写真は、現在の本館
の様子です。老朽化が進み手
摺のガードレールが取り外さ
れ、アルミの手摺にリフレッ
シユされています。

なお、今後とも、会報に対
しましてご意見、情報等（同
窓会報告、会員消息等）がご
ざいましたら事務局へご連絡
をお願いいたします。

（事務局 石井）



平成25年度 江工会一般会計 決算書

【1】収入の部

(単位 円)

費 目	予算額	補正額	補正後予算額	決算額	差 引	備 考
1. 繰越金	1,061,820	0	1,061,820	1,061,820	0	H24年度一般会計より
2. 会費・入会金	550,800	0	550,800	550,847	△47	H24年度卒業生終身会費
3. 寄付金	10,000	0	10,000	10,000	0	関西支部より
4. 繰入金	0	0	0	0	0	
5. 雑収入	380	0	380	137	243	預金利息
収入合計	1,623,000	0	1,623,000	1,622,804	196	

【2】支出の部

(単位 円)

費 目	予算額	補正額	補正後予算額	決算額	差 引	備 考
1. 工業教育振興費	10,000	0	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
2. 会報発行費	180,000	12,000	192,000	190,500	1,500	200部追加あり
3. 記念品費	20,000	3,000	23,000	22,950	50	卒業証書用角筒
4. 会館運営費助成	150,000	0	150,000	150,000	0	会館運営会計へ
5. 通信費	25,000	0	25,000	19,560	5,440	総会案内・会報発送 他
6. 旅費	350,000	0	350,000	223,660	126,340	各支部総会出席
7. 会議費	200,000	0	200,000	150,716	49,284	各支部総会御祝い等
8. 慶弔費	30,000	0	30,000	15,865	14,135	祝電・弔電
9. 雑費	30,000	0	30,000	11,985	18,105	講師資料代・感謝状用額縁
10. 積立金	0	0	0	0	0	
11. 予備費	628,000	△ 15,000	613,000	0	613,000	
支出合計	1,623,000	0	1,623,000	795,236	827,764	

収入総額 ￥1,622,804 - 支出総額 ￥795,236 = 差引残額 ￥827,568

平成26年度 江工会一般会計 予算書

【1】収入の部

(単位 円)

費 目	予算額	補正額	補正後予算額	前年度当初予算額	増 減	備 考
1. 繰越金	827,568		827,568	1,061,820	△234,252	H25年度繰越金
2. 会費・入会金	961,200		961,200	550,800	410,400	H26年度卒業予定者会費 900円×12ヶ月×89名
3. 寄付金	10,000		10,000	10,000	0	
4. 繰入金	0		0	0	0	積立金会計より繰入
5. 雑収入	232		232	380	△148	預金利息等
収入合計	1,799,000		1,799,000	1,623,000	176,000	

【2】支出の部

(単位 円)

費 目	予算額	補正額	補正後予算額	前年度当初予算額	増 減	備 考
1. 工業教育振興会費	10,000		10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
2. 会報発行費	180,000		180,000	192,000	△12,000	会報49号発行
3. 記念品費	45,000		45,000	23,000	22,000	卒業生への記念品 卒業証書角筒89名分
4. 会館運営費助成	150,000		150,000	150,000	0	江工会館運営会計へ
5. 通信費	25,000		25,000	25,000	0	案内状・会報発送 他
6. 旅費	350,000		350,000	350,000	0	理事会 支部訪問 他
7. 会議費	200,000		200,000	200,000	0	本部・各支部総会出席
8. 慶弔費	30,000		30,000	30,000	0	
9. 雑費	30,000		30,000	30,000	0	広告料 謝礼 他
10. 積立金	0		0	0	0	
11. 予備費	779,000		779,000	613,000	166,000	
支出合計	1,799,000		1,799,000	1,623,000	176,000	